

役員の報酬等の支給の基準

(目的)

第1条 この規程は、学校法人穴吹学園(以下「この法人」という。)の寄附行為第 58 条の規定に基づき、役員の報酬等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

(定義等)

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の定義は、当該各号に定めるところによる。

- (1) 役員とは、理事及び監事をいう。
- (2) 常勤の役員とは、法人において勤務することが常態である者をいう。
- (3) 非常勤の役員とは、常勤の役員以外の者をいう。
- (4) 役員の報酬等とは、報酬、賞与、退職慰労金その他の役員としての職務執行の対価として受け取る財産上の利益であって、その名称の如何を問わない。この役員の報酬等には、職員給与規程に基づくものを含まない。
- (5) 費用とは、役員としての職務執行に伴い生じる旅費(交通費、宿泊費等)及び手数料等の経費を言う。

(報酬等の支給)

第3条 役員に対しては、次のとおり報酬等を支給するものとする。

- (1) 常勤の役員 報酬、退職慰労金
- (2) 非常勤役員 報酬

(報酬等の額の算出方法)

第4条 常勤の役員に対する報酬等の額は、次に掲げる報酬等の区分に応じ、当該各号の定める範囲内で、理事会において決定する。

- (1) 報酬 別表第 1 に定める額
- (2) 退職慰労金 別表第 2 に定める算式により算出される額

尚、在任中特に功労のあった者、あるいは重大な損害を与えた者に対しては、算出した額の 20%を超えない範囲で特別加算あるいは特別減算することができる。

- 2 非常勤の役員に対する報酬の額は別表第 3 に定める額とする。

(報酬等の支給方法)

第5条 常勤の役員に対する報酬等の支給の時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて、当該各号の定める時期とする。

(1)報酬 決定した年間報酬の12分の1の額を毎月支給する。

支給日は毎月30日(2月は末日)とする。ただし、支給日が休日にあたる場合は、前日に繰り上げて支払う。

(2)退職慰労金 任期の満了、辞任又は死亡により退職した後2ヶ月以内に支払う

2 非常勤の役員に対する報酬は、理事会又は評議員会への出席など法人運営のための業務にあたった都度、支給する。

3 報酬等は、現金により本人に支給する。ただし、本人の同意を得れば、本人の指定する本人名義の金融機関の口座に振り込むことができる。

4 報酬等は、法令の定めるところによる控除すべき金額及び本人からの申し出のあった立替金、積立金等を控除して支給する。

(費用)

第6条 役員には、別に定める旅費規程に基づいて、旅費を支給する。

2 役員が職務の執行に当たって旅費以外の費用を要する場合は、当該費用を支給する。

(報酬等の日割り計算)

第7条 新たに常勤の役員に就任した者には、その日から報酬を支給する。

2 常勤の役員が退任し、又は解任された場合は、前日までの報酬を支給する。

3 月の途中における就任、退任、又は解任の場合の報酬額については、その月の総日数から日曜日及び土曜日の日数を差し引いた日数を基礎として日割りによって計算する。

(端数の処理)

第8条 この規程により、計算金額に1円未満の端数が生じたときは、これを1円に切り上げるものとする。

(補足)

第9条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事長が理事会の議決を経て、別に定める。

(改廃)

第10条 この規程の改廃は、評議員会の意見を聴いた上で、理事会の決議により行う。

付則 この規程は、令和2年4月1日より施行する。

この規程は、令和7年4月1日より施行する。

別表第1(常勤の役員の年間報酬)

役職名	報酬の額の上限
理事長	年額 15,000,000
副理事長	年額 12,000,000
専務理事	年額 10,000,000
常務理事	年額 8,000,000
理事	年額 6,000,000
監事	年額 8,000,000

別表第2(常勤の役員の退職慰労金)

[最終報酬月額] × [在任年数] × [係数] × [特別加算・減算]

役職名	係数
理事長	150%
副理事長	140%
専務理事	130%
常務理事	110%
理事	80%
監事	60%

別表第3(非常勤常勤の役員の報酬)**(1)理事**

	報酬の額
理事会等への出席	日額 30,000
上記の他、法人の業務の為の勤務	日額 30,000

(2)監事

	報酬の額
監事監査等への出席	日額 30,000
上記の他、法人の業務の為の勤務	日額 30,000